

2022年5月10日

各位

会社名 株式会社ACSL  
代表者名 代表取締役社長 鷲谷 聡之  
(コード番号: 6232 グロース)  
問合せ先 取締役CFO 早川 研介  
(TEL. 03-6456-0931)

## 国産産業用ドローン「SOTEN（蒼天）」専用訓練トレーナーの 共同開発に関するお知らせ

当社は、VFR株式会社（以下、VFR）及び株式会社理経（以下、理経）と共同で、ACSL製国産ドローン「SOTEN（蒼天）」（以下、SOTEN）の専用訓練トレーナー「SOTEN バーチャルトレーナー」を開発いたしますので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 事業の概要

当社は、VFR及び理経と共同で、SOTENをバーチャル上に再現し、操縦訓練を可能とするSOTENバーチャルトレーナーを開発いたします。開発を目指すバーチャルトレーナーは、SOTENに特化したシミュレータであり、SOTENと同様の機体性能やユーザインタフェースを再現することで、カメラ撮影などもトレーナー内にて訓練することが可能となっております。また、点検、搜索、災害監視などの多様な実務状況を体験でき、実務ならではのヒヤリハット（注1）やトラブルに対応する訓練が可能となっております。なお、このバーチャルトレーナーは、PC、モニタ、プロポ型コントローラ（注2）のみで訓練を行うため、実機の準備が不要という特徴も有しております。

（注）1. ヒヤリハット：重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例の意

2. プロポ型コントローラ：ドローン操作に一般的に用いられる送信機のこと

#### 2. 事業の背景・目的

2022年は航空法改正に伴う機体認証制度やドローン操縦ライセンス制度の実施など、ドローンを取り巻く環境において転換点を迎えております。そうした中で当社は、2021年12月に国産の小型空撮ドローン「SOTEN」を発表し、ドローンの社会実装を加速させてまいりました。一方で、ドローンの操縦機会という面では、「もっと気軽に操縦訓練がしたい」「再現が困難な実務を模した環境での訓練が可能であれば、実地訓練の時間を短縮することができる」といった課題があがっております。

今回、理経がVR環境を構築し開発するSOTENバーチャルトレーナーでは、こうした課題を解決すべく、SOTENと同様のユーザインタフェースを再現し、バーチャル上での飛行訓練を可能とします。また、緊急着陸などのドローンを操縦する上で身に付けるべき判断力を養うコンテンツなど、バーチャルだからこそできる訓練を目指して開発を進めております。

### 3. 今後の見通し

2022年12月期通期業績への影響につきましては、2022年2月14日に公表いたしました2022年12月期通期業績予想に織り込み済みです。

今後の開発について、ベータ版の提供を開始し、2023年1月の正式リリースを目指します。また、今後はメタバース空間の中にドローン訓練スペースを展開し、複数名が同一空間内で訓練できる仕組みも検証していきます。

以 上